

**製品名: アプラタキシンウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85300**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 41 kDa; Observed MW: 41 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Aprataxin
別名	AOA; AOA1; AXA1; EAOH; EOAHA; FHA-HIT
遺伝子 ID	54840.0
SwissProt ID	Q7Z2E3
免疫原	ヒトアプラタキシンの合成ペプチド

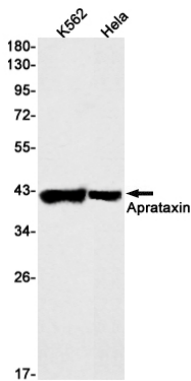
**背景**

一本鎖 DNA 切断修復、二本鎖 DNA 切断修復、および塩基除去修復に関与する DNA 結合タンパク質

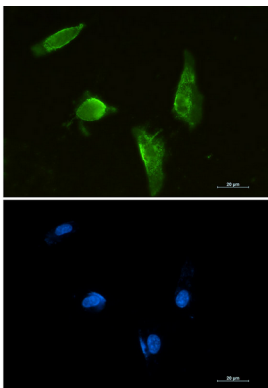
(PubMed:15380105、PubMed:15044383、PubMed:16964241、PubMed:17276982、PubMed:24362567)。塩基除去部位、または活性酸素種によって誘導された連結不可能な切断を DNA リガーゼが修復しようとする際に形成される、不完全 DNA ライゲーション中間体を分解します (PubMed:16964241、PubMed:24362567)。5'-リン酸末端に共有結合したアデニル酸基の遊離を触媒し、効率的に再結合可能な 5'-リン酸末端を生成します (PubMed:16964241、PubMed:17276982、PubMed:24362567)。また、アデノシン 5'-モノホスホラミデート (AMP-NH<sub>2</sub>) およびジアデノシンテトラリン酸 (AppppA) も加水分解しますが、触媒活性は低くなります (PubMed:16547001)。同様に、DNA から 3'-結合グアノシン (DNAppG) およびイノシン (DNAppI) の遊離を触媒しますが、5'-結合アデノシン (AppDNA) に対してより高い特異活性を示します。

## 研究分野

## 画像データ



アプラタキシン抗体を使用した K562、Hela 溶解物中のアプラタキシンのウエスタンブロット分析。



アプラタキシン抗体および DAPI (青) を使用した U87-MG におけるアプラタキシン (緑) の免疫細胞化学分析。